



社会福祉法人

緑伸会



<https://ryoku-sin.or.jp/>

必要なすべての人に心の通った福祉を

私たち法人の役割は、市民の生活向上の願いと共に「だれもが住みよい福祉の町づくりに貢献する」ことにあります。法人設立当初は、地域に保育所が不足している現状や、障がいのある方のくらしの場、はたらく場などが不足しているという状況をふまえて、認可保育園の開設、障がい福祉サービス事業（就労支援やグループホーム）の開設を行いました（令和元年度より）。また、特定の理由で一定期間自宅で過ごすことが出来なかつた子どもたちと社会的な立場として「児童自立援助ホーム」を開設し、地域における社会的養護の機能向上を目指しています（令和2年度より）。

保育事業部門では「よく遊ぶ、よく食べる、よく生きる」という保育理念とともに、子どもの発達と主体性を重視しながら家族に寄り添った保育の提供を心掛けていくと共に、園に通う子どもやご家族だけではなく、地域の皆様にとって必要とされる園を目指していきます。



障害福祉サービス事業部門では、障がいのある方の居場所づくりを支援します。地域で働く、暮らしていくことを応援します。利用者の皆さまが地域社会の中で与えられた「役割」をまとうし、社会の一員として自信をもって生きていくことが出来るよう支援していきます。

児童自立援助事業では、地域で暮らす子どもたちのセーフティーネットの構築に寄与するとともに、ホームを利用する子どもが円滑な社会自立を図る事が出来るように、生活、就労、教育の側面から専門的なアプローチを行っていきます。



社会福祉法人 緑伸会 法人理念

私たち緑伸会は…

- ① 子どもやそのご家族、高齢者、障がい者（以下、利用者という）、だれもが、必要な時に、利用できる福祉サービスの確立を目指します。
- ② 利用者の生活と発達を保障し福祉の向上と内容の充実に努めます。
- ③ 利用者の健康で文化的な生活と権利をまもり、福祉のネットワークづくりに努めます。
- ④ 地域の人々と共同し施設の民主的な運営に努めます。
- ⑤ 利用者の基本的人権の尊重と自己実現の達成を目指します。

目指すところ…

私たちは、保育園、障がい福祉サービス事業所、それぞれのニーズを共通の課題として子どもや障がい者のための施設をつくり、札幌の地の社会福祉の増進に努めていきたいと考えています。子ども、障がい者、高齢者の三分野にその活動基盤を置き、共同の輪の中から、他の施設や医療機関、教育機関とも連携した「この地域にこの施設があつてよかった」と地域の方々から喜んでいただける「福祉の町づくり」、地域の皆様と共にこの運動を進め、必要なすべての人に心の通った福祉の実現を目指していきます。

社会福祉法人 緑伸会概要

法人名 称	社会福祉法人 緑伸会
創立日	2018年4月1日
理 事 長	五十嵐 敏明
従 業 員	91名
業 種 内 容	社会福祉事業
法 人 本 部	〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目4番地ダンロップSKビル3F

T E L 011-261-1313
F A X 011-251-3132
E - m a i l info@ryoku-sin.or.jp
H P <https://ryoku-sin.or.jp>

社会福祉法人 緑伸会が大切にしたいこと

社会福祉法人緑伸会では、子どもや高齢者、障がいのある方とそのご家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことが出来るように、利用者様とご家族のニーズを考えながら創意工夫をもってサービスの提供にあたっていくことを目標にしています。

- ① 利用者様とご家族が安心して利用できる「居場所づくり」を大切にします。
- ② 専門性をもって各種機関との連携の中で支援を行います。
- ③ 利用者様、ご家族との相談機会を大切にしていきます。

* すべての人に心の通った「福祉を」… *



職員行動指針 ~なりたい自分を、あきらめない~

利用者支援(利用者とともに)

- ・ 私たちは、利用者一人ひとりの気持ちに寄り添い、人権を尊重します。
- ・ 私たちは、利用者自らがその人らしく生活ができるよう、自律性を尊重し支援します。
- ・ 私たちは、利用者の個人情報の取り扱いとプライバシーの保護に努めます。

職員心得(職員とともに)

- ・ 私たちは、専門職としての誇りと自覚を持ち、常に自己研鑽に励みます。
- ・ 私たちは、緑伸会の職員として、事業所間を超えて一丸となって支援します。
- ・ 私たちは、緑伸会の利用契約に基づいて、誠心誠意サービスを提供します。

社会貢献(地域とともに)

- ・ 私たちは、関係法令を遵守し、社会の信頼に応え責任ある行動をします。
- ・ 私たちは、地域に根ざした存在として、地域社会に貢献します。

社会福祉法人 緑伸会の職員研修体制について

法人全体研修

採用時研修、虐待防止研修、身体拘束等に関する研修
ヒヤリハット・リスクマネジメント等における研修

保育に関する基礎知識、
札幌市私立保育園連盟が行う研修等

障がい福祉サービス部門

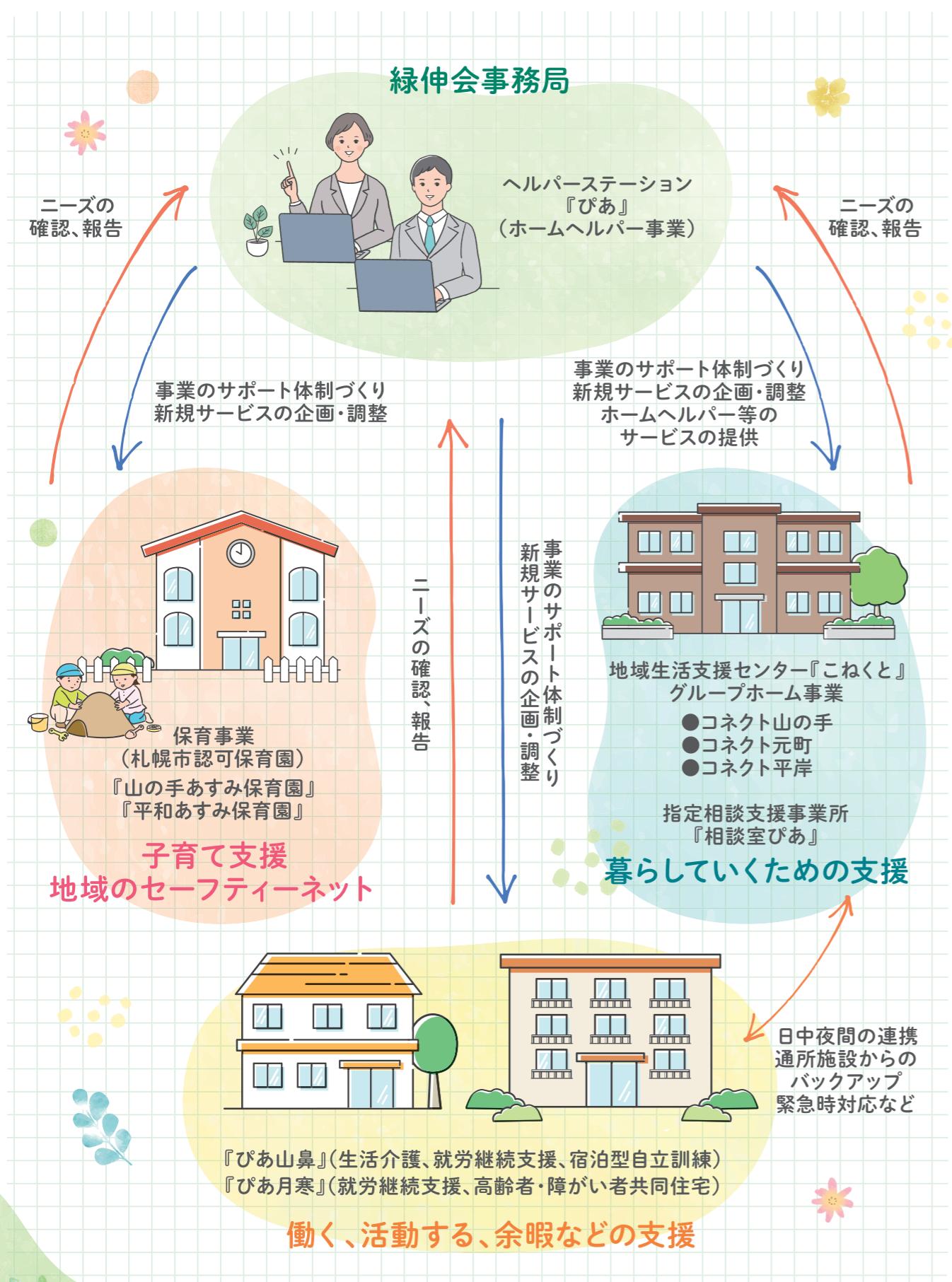
- ① 障がい者福祉の歴史
- ② 障害福祉サービスに関する基礎知識
- ③ 自閉症・発達障がいのある方々への支援
- ④ 職場内におけるケースワークの在り方

その他の研修／職務経験に応じて実施

サービス管理責任者・児童発達管理責任者基礎研修
(実践研修、更新研修)
相談支援従事者研修、行動援助従事者研修、
訪問介護初任者・実務者研修など

社会福祉法人 緑伸会が目指すもの

子どもや高齢者、障がいのある方が安心して暮らせる支援システムをつくります。



保育園

山の手あすみ保育園



山の手あすみ保育園は、平成31年4月1日に、法人一園目の認可保育園として山の手に開園、現在は90名超の園児、25名の職員と賑やかな毎日を過ごしています。

健やかな体作りを目標とし、0才児からたくさん体を動かすことのできる環境を整え、西区内はもとより、近隣の中央区にまで足を延ばして戸外での遊びを楽しんでいます。

また年中児年長児は円山、三角山の登山を年中行事としています。励まし合いながら、自分の足で登り、頂上から眺める札幌の街並みは、みんなと食べたおにぎりの味とともに深く記憶に残ってくれるのではないかでしょうか。小さい子たちもお兄さんお姉さんの姿を見て、自分たちもいつか…と憧れを持ってくれているようです。

これからもお子さんたちの育ちをしっかりと見守り、地域の子育て支援の場としての役割を果たしていきたいと思います。

札幌市認可保育園(定員90名) 平成31年4月より開園

営業日:月曜日～土曜日(祝祭日を除く)

営業時間:7:00～19:00(延長保育あり)

所在:札幌市西区山の手2条4丁目5番19号

施設内バリアフリー

(エレベーター、多目的トイレを設置)

お問い合わせ:011-688-7933

職員からのメッセージ



私は山の手あすみ保育園の開園当初から新卒保育士として子どもたちと共に過ごしてきました。毎日の保育の中で子どもたちから元気と癒しを貰いながら日々保育の奥深さを感じています。子どもたちの成長のスピードは目まぐるしく、毎日驚きの連続です。

子どもたちの「なんでだろう?」「やってみよう!」という探求心や挑戦しようとすると気持ちに寄り添い、「できた!」と達成できた喜びを共有した時はとてもやりがいを感じています。そんなたくさんの子どもたちの成長を間近で見ることが出来、とても楽しい毎日を過ごしています。

これからも子どもたちの気持ちに共感し受け止めながら、共に様々なことを学び私自身もさらに成長していきたいと思います。



保育園

平和あすみ保育園



平和あすみ保育園は2020年4月に札幌市西区平和に開園しました。

乳幼児90名定員(産休明けから就学前)、一時保育事業、時間外保育事業を実施しています。閑静な住宅街に位置し、きれいな水と空気、四季折々の自然を感じることができ、子ども達が過ごすうえで最適な環境です。乳幼児期はこころとからだが大きく成長、発達していく大切な時間です。子どもたちの個性を見つめ寄り添い、園での友人関係や経験を通して、優しく強い心と身体が育まれるよう保育を展開しています。また、地域の子育ての支援の拠点として存在出来るよう、子育ての相談や情報発信を行います。

札幌市認可保育園(定員90名)令和2年4月より開園

営業日:月曜日～土曜日(祝祭日を除く)

所在地:札幌市西区平和2条4丁目11番26号

営業時間:7:00～19:00(延長保育あり)

施設内バリアフリー

(エレベーター、多目的トイレを設置)

お問合せ:011-676-9727

職員からのメッセージ



平和あすみ保育園は住宅街の中にある保育園ですが、少し足を延ばすと沢山の公園があります。幼稚クラスになると往復2kmなんて近く感じるほどです。天気の良い日には戸外へ出かけ、木の実を拾い集め、昆虫を探し、自然と触れ合うことを楽しんでいます。園に戻ると、子どもたちと知らない草花や昆虫を図鑑で調べたり、見つけた木の実で制作を行ったりと探求心を深めています。

保育士として長く勤めてきましたが、大切なのは保育士自身が様々なことに興味を持ち、子どもと共に感じ、楽しんで毎日を過ごすことだと感じています。保育士が笑っていると子どもも自然と笑顔になります。私自身、絵本が好きで自分の選んだ絵本で子どもたちがどのような反応をするのかとても楽しみにしています。

保育士の仕事は、子どもの命を預かるという責任の大きい仕事ではありますが、日々子供の成長を感じることができ、毎日新しい発見のある素敵な職業です。得意ではない事や思うようにいかない事も沢山ありますが、子どもたちの笑顔に励まされ、職員同士で話し合い、自分自身を向上できると感じています。



障害福祉サービス

障害福祉サービス事業所『ぴあ月寒』



就労継続支援B型(定員20名)で、クリーニング作業を中心に行っています。洗濯やアイロン作業のほか、参加しやすい軽作業なども行っており、社会へ一步出るきっかけづくりを含め、ご本人のペースに合わせて働くことができる施設です。送迎も行っていますので、公共交通機関の利用に自信のない方もご相談ください。

宿泊型自立訓練(定員10名)では、2年間の有期限の中で個別のプログラムを作成し、金銭管理や食事の提供、通院のお手伝いなどを行い、自立に向けた支援を提供しています。

指定障害福祉サービス事業の実施運営

①就労継続支援B型(定員20名) ②生活訓練(定員6名) ③宿泊型自立訓練(定員10名)

令和2年6月より開所

営業日:月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 土曜日にレクリエーションの実施(月1回～2回程度)

営業時間:①9:30～16:30、②9:30～16:30、③9:00～17:00(夜間支援体制あり)

所在地:札幌市豊平区月寒西1条4丁目1番30号

送迎:あり ※札幌市豊平区、南区、中央区の一部(その他の地域はご相談ください。)

お問合せ:011-598-0306

職員からのメッセージ



ぴあ月寒は作業ももちろん行ないますが、自分のペースで作業ができたり、色々なお話をしながら作業したり、生活リズムを作るために短時間の利用から始められたりと自分に合った利用の仕方ができる場所です。様々な経験をされている方、苦労や悩みを抱えている方など色々な方が利用されている中で、ぴあ月寒に来たら「色々な話ができるなあ」「来たら楽しいなあ」と感じてもらえる雰囲気づくりができるよう、考えながら仕事をしています。今後も、楽しみながら仕事ができる場所を利用者の方々と一緒に作っていきたいと思います。



障害福祉
サービス

* 障害福祉サービス事業所『ぴあ山鼻』



指定障害福祉サービス事業

生活介護(定員10名)、就労継続支援B型(定員10名)、
生活訓練(定員6名)、宿泊型自立訓練(定員10名)
平成31年4月より生活介護、就労継続支援B型を開所
令和2年4月より生活訓練、宿泊型自立訓練を開所

営業日:①生活介護、就労継続支援B型、生活訓練

月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

土曜日にレクリエーションの実施

(月1回～2回程度)

②宿泊型自立訓練 年中無休

営業時間:①10:00～16:00

②9:00～17:00(夜間緊急通報体制あり)

所在地:札幌市中央区南22条西9丁目1番37号

送迎:あり ※札幌市中央区、西区、南区の一部、豊平区の一部(その他の地域はご相談ください。)

お問い合わせ:011-206-4984

ぴあ山鼻(生活介護 定員10名、就労継続支援 定員10名、生活訓練 定員6名)では、調理実習や軽作業を中心に、個別の課題などにも取り組んでいます。今だけではなく将来の暮らしを見据え、洗濯や掃除、調理などの日常の家事を行うために必要な力を養うことを目的に相談助言等の支援を行っています。「協力して働くこと」をテーマにみんなが落ち着いて過ごすことのできる空間、職員も一緒に歩み楽しむことのできる空間づくりを目指しています。やりたいを「かたち」に。

職員からのメッセージ



私はぴあ山鼻で初めて「福祉の仕事」に携わりました。はじめは「障がい」というものがわからず、単純に「障がいはその人の個性」というだけの解釈をしていました。入職時は、とにかく利用者さんとのコミュニケーションを図りながら、一人ひとりのことを少しでも理解したいという気持ちで働いていました。関わりを重ねていくうちに、利用者さんから名前を呼んでもらえたとき、声をかけてもらえたとき、自分のことを頼ってもらえたときなど、少しずつ利用者さんが心を開いてくれることを実感することができました。仕事をするなかで利用者さんやご家族から感謝をしていただくこともあります。本当に自分が皆さまからたくさんの事を学び、経験することができて、逆に感謝している気持ちでいっぱいです。これからも一緒に活動していくたいと思える利用者さん、スタッフに囲まれ、初めて福祉にかかわった場所が「ぴあ山鼻で良かった」と思っています。

* 地域生活支援センター『こねくと』



指定障害福祉サービス業 共同生活援助(定員30名)

- ①コネクト山の手(定員7名)
- ②コネクト元町(定員11名)
- ③コネクト平岸(定員12名)

令和2年4月より㈱Endueより事業譲渡により提携

営業日:①年中無休

営業時間:①0:00～24:00(夜間緊急通報体制あり)

所在地:①コネクト山の手

札幌市西区山の手2条4丁目5番16号

②コネクト元町

札幌市東区北26条東15丁目1番40号-7階

③コネクト平岸

札幌市豊平区平岸4条6丁目3番23号

お問い合わせ:011-688-7945 (法人事務局)

●管理体制／職員所在時間

コネクト山の手 8:30～19:30

コネクト元町 9:00～19:30

コネクト平岸 16:00～18:00

※夜間緊急対応あり、その他必要時生活支援を行います。

●各ホームの特徴

コネクト山の手、コネクト元町(ファミリータイプ)

コネクト平岸(単身用、ワンルームタイプ)

「出来るかな…?」を「出来そうだ!」と一緒に変えていきましょう。地域生活支援センターこねくと(共同生活援助 定員30名)では、様々なニーズに応えられる様、西区山の手・東区元町にファミリータイプのグループホームを展開。豊平区には単身タイプのグループホームがあります。住まいの場としてだけではなく「将来、一人暮らしをしてみたいけど、その前に身近に相談できる環境で試してみたい」など自立生活へ向けたトレーニングをする通過的な場としても活用していただければと思っています。また、私たちだけではなく様々な相談に対して関係機関と連携しながら自立に向かってお手伝いをさせていただければと考えています。

職員からのメッセージ



私は入職時から「生活介護」や「共同生活援助」の支援に携わってきました。生活介護では調理や創作活動等を利用者の方と共に取り組み、できることを増やしたり好きなことを楽しんだり様々な体験を共有していくところにやりがいを感じています。また、グループホームでは、地域生活をしている方の相談を受けたり、より個別性の高い密接なお手伝いで関わることが多く、その人の支えになっていくという実感と充実感を日々の業務で感じています。言葉での意思疎通が苦手な方も多く、それぞれ好きなことも違うので、関わって笑顔になってくれたり機嫌が良さそうにしてくれる時には言葉ではなくとも分かり合えた気がして素敵な気持ちになります。小さくても素敵な体験を日々積み重ねていくのはすごく私の力になっています。それを集めていくことが私がこの仕事を続けている大きな理由に感じています。

* ヘルパーステーション『ぴあ』 地域生活支援住宅の運営(公益事業)



ヘルパーステーションぴあ(居宅介護、移動支援、重度訪問介護、行動援護)では、障がいのある方が、安心して買い物や余暇を行えるように外出のお手伝いをしたり、ゆとりを持って日常生活を過ごして頂けるように、入浴・食事の介助、掃除などの家事の提供をしています。介助を行なながら将来のこともいっしょに考えることのできる「ぴあ(仲間)」にさせて頂けたらと考えています。

職員からのメッセージ



ヘルパーステーションぴあの利用者の方は、子供から大人まで、障がい特性も様々です。

利用者さんの生活、暮らしの中でちょっとしたお手伝いをさせていただき、以前よりも少しだけ快適に過ごせるようになったり、できなかったことができるようになったり、外出では安全に楽しく過ごしている様子を見ることができた時や、利用者の方、家族の方から「ありがとうございます」と伝えられた時は本当に嬉しく思います。今後も日々の中のわずかばかりのお手伝いではありますが、利用者の方、ご家族の方の生活の一部の支えになれたらと思います。

『ぴあ月寒』施設建物の2階、3階部分に高齢者・障害者共同住宅を開設しました。共同住宅にご入居された方々に関しては、その必要性に応じてケアプランを作成し、施設に併設されているヘルパーステーション(居宅介護事業所)の介護員が支援を行っています。

- 各居室ワンルームタイプ ●利用料30,000円～
- 水道光熱費、管理費等各居室により設定
- トイレ、浴室、キッチン完備 ●フリーWi-Fi設備あり(有料)
- 居室面積 33m²(ベランダ部分除く) ●収納クローゼットあり
- 駐車場あり
- エレベーターなし
- 食事提供なども
ご相談に応じます



* 指定相談支援事業所『相談室ぴあ』

指定相談支援事業(特定・一般・地域移行、定着)

障害児相談支援事業

自立生活援助事業(令和3年7月開始)

営業日:月曜日～金曜日

営業時間:9:00～17:00

所在地:札幌市東区北26条東15丁目1番40号
(コネクト元町併設)

お問い合わせ:011-374-1360

利用定員なし

職員からのメッセージ



社会福祉法人緑伸会に入職し、これまでの障害福祉サービス事業所での経験を活かしながら相談支援事業所で働いています。毎日、利用者の皆様やご家族と相談を行なっていますが、問題解決へむけたアプローチが間違えていないかなど、いつも自問自答しながら仕事をしています。悩んでしまうこともあります。利用者さんと課題を共有し、どのようなサービスを利用して、より良い生活を目指していくことを一緒に考えることができるので本当に勉強になっています。相談員のみでは解決することができない事例についても、他の専門機関の方々と連携しながら支援を進めています。広くコミュニケーションをとりながら支援者としての見識を広めていくことができることも、この仕事の魅力だと感じています。今後も利用者さんを中心と支援していくことを心がけ、利用者さんの暮らしの中の「応援団」の一人として関わっていくことができればと思っています。

* 児童自立援助ホーム『とらい・あんぐる』



札幌市児童自立援助事業
(自立援助ホームの運営)
定員6名、緊急一時保護室あり
所在地: 札幌市西区山の手4条11丁目2番30号
札幌市より委託を受け児童相談所の措置決定をもって利用が認められます。

お問い合わせ: 011-215-9357

自立援助ホーム「とらい・あんぐる」は、義務教育終了後、何らかの理由で家庭にいられなくなり、また児童養護施設を退所した、原則として15歳～20歳までの青少年たちが暮らし、社会で生きていく為の準備をするところです。ホームでは、過酷な養育環境を潜り抜けてきている青少年たちに、安心・安全な生活環境を保障し、本来あるべきあたり前の生活を通して、自分の存在意義を実感し、自分を大切に思うきっかけを作ります。また、自分で考えて行動し、時には失敗も含めてその結果を受け入れるという経験を積み重ね、スタッフと共に主体性を養っていく場であり、一人ひとりが目指す生活を見出し、目標に向かっていく為の応援団です。

とらい・あんぐるは、三角山の麓に位置する一軒家でアットホームな雰囲気の中、一人ひとりのプライベート空間が保障できる個室となっています。目の前にはバス停もあり、地下鉄や街中へのアクセスも便利です。

職員からのメッセージ



私は、福祉の仕事は未経験でしたが、児童福祉の仕事に関心があり2年前に入職しました。主に、掃除や調理、入所されている方の日常生活のサポートを行っています。

入所される方が必要とする支援や抱えている課題は様々で、日々「これでよかったのかな」と悩みながらの支援になりますが、先輩職員や同僚と相談し合いながら、より良い支援を目指しています。

特別なことはできませんが、入所されている方が毎日無事に帰宅してくれることや、たわいもないことで笑い合えることが日々の励みになっています。

特定非営利活動法人 ハイファイブ ケアホーム「ゆうゆう」、グループホーム「ゆうゆう円山」開設のお知らせ

特定非営利活動法人 ハイファイブでは、令和4年2月より、ケアホーム「ゆうゆう」、グループホーム「ゆうゆう円山」の開設を行いました。ケアホーム「ゆうゆう」では、重度な障がいがあっても地域で自分らしく暮らしていくことを目的として24時間体制で支援を行える体制をつくりしていくとともに、付帯する「ゆうゆう円山」では、ワンルームマンションを活用し単身生活に近い環境で生活することを目指していきます。入居のご相談、利用のお問い合わせなど、随時お受け付けさせていただいておりますので、よろしくお願い申し上げます。

ケアホーム「ゆうゆう」(主たる事業所)



利用定員:
7名(夜間支援体制あり)

対象:
障がいのある方で障がい福祉サービス「共同生活援助」の支給決定を受けた方/男性専門

居室:
個室/トイレ、ユニットバス付き
食堂、デイルーム、
洗濯室は共用

費用:
家賃30,000円～36,000円
(市町村により10,000円の家賃補助あり)
食費:
朝食税込400円、夕食税込500円

その他: 水道光熱費、食費、日用品等の実費
住所: 札幌市中央区北7条西15丁目28-200号
JR桑園駅より徒歩5分

グループホーム「ゆうゆう円山」(従たる事業所)



利用定員: 4名(夜間支援体制あり)
対象: 障がいのある方で障がい福祉サービス「共同生活援助」の支給決定を受けた方/男性・女性要相談
居室: 個室(単身タイプ)トイレ、ユニットバス付き
食堂、デイルームは共用
費用: 家賃36,000円
(市町村により10,000円の家賃補助あり)
食費: 朝食税込400円、夕食税込500円
その他: 水道光熱費、食費、日用品等の実費
住所: 札幌市中央区北5条西25丁目4番16号
地下鉄東西線「西28丁目駅」より徒歩5分

* 児童自立援助ホーム『ぴあ・くおーれ』

2022年2月開設



札幌市児童自立援助事業
(自立援助ホームの運営)
定員10名、一時保護所(6名)併設
所在地: 札幌市南区藤野4条2丁目7-2
札幌市より委託を受け児童相談所の措置決定をもって利用が認められます。

お問い合わせ: 011-596-6503

職員からのメッセージ



自立援助ホームには、様々な家庭環境で育った子どもたちが生活しています。そんな子どもたちがご飯を食べて「おいしい」と口にしてくれたり、メニューを見て「〇〇日楽しみ!」と笑顔を見せてくれます。また、照れくさそうに「ありがとうございます」とお礼を言ってくれます。そんな子どもたちの笑顔や言葉を聞けると私たちも嬉しく感じます。子どもたちにとって、ぴあ・くおーれが「嬉しい」「楽しい」「悲しい」「苦々する」など喜怒哀楽を素直に出来る居場所になれる事。子どもたちにとって帰ってくる場所があること。受け止め、認められ、寄り添ってくれる…そんな大人がいる事を知つてもらえるよう一緒に歩んで行きたいと思います。

特定非営利活動法人 ハイファイブは「居住支援法人」として次の取り組みも行っています。

居住支援法人とは、住宅セーフティーネット法に基づき、住宅要配慮者に対する居住支援を行う法人として、都道府県が指定するものです。

住宅要配慮者に対する 居住支援業務

特定の理由で「住まい」の確保が必要な「住宅要配慮者」の方々について、居住支援業務に従事する専門スタッフが、不動産業者の紹介や賃貸住宅入居のためのお手伝いを行います。

居住支援相談窓口

所在地: 札幌市中央区大通西12丁目4番地

WEST12ビル3階

T E L : 011-522-5668

F A X : 011-522-5618

E - m a i l : hifive_2020@yahoo.co.jp

窓口開設時間: 月曜日～金曜日

(土日祝祭日を除く)

9:00～17:00

指 定 番 号: 北海道指定第25号

H P : <https://npo-high-five.com>



法人に対するお問い合わせ

●社会福祉法人 緑伸会(りょくしんかい)

●理事長 五十嵐 敏明

●所在地: 札幌市中央区大通西10丁目4番地

ダンロップSKビル3F

●連絡先: 011-261-1313

●役員: 理事6名、評議員7名、監事2名

●業務執行理事: 総合施設長 小貫 晃一、事務局長 田中 耕平

●第三

●加盟団体: 山の手連合町内会、山の手商工会、

札幌市立保育園連盟、全国グループホーム学会、
全国自立援助ホーム協議会、
北海道相談支援専門員交流会





全施設一覧

- 1 山の手あすみ保育園**
〒063-0002 札幌市西区山の手2条4丁目5番19号
TEL 011-688-7933 FAX 011-688-7934
E-mail yamanote-asumi@ryoku-sin.or.jp
- 2 平和あすみ保育園**
〒063-0022 札幌市西区平和2条4丁目11番26号
TEL 011-676-9727 FAX 011-676-9728
E-mail heiwa-asumi@ryoku-sin.or.jp
- 3 障害福祉サービス事業所『ぴあ山鼻』(多機能型)**
〒064-0922 札幌市中央区南22条西9丁目1番37号
TEL 011-206-4984 FAX 011-206-4985
E-mail pia-yamahana@ryoku-sin.or.jp
- 4 障害福祉サービス事業所『ぴあ月寒』(多機能型)**
〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条4丁目1番30号
TEL 011-598-0306 FAX 011-598-0307
E-mail pia-tsukisamu@ryoku-sin.or.jp
- 5 ヘルパーステーション『ぴあ』(ぴあ月寒併設)**
〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条4丁目1番30号
TEL 011-598-0306 FAX 011-598-0307
E-mail pia-tsukisamu@ryoku-sin.or.jp
- 6 地域生活支援住宅の運営(公益事業)(ぴあ月寒併設)**
〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条4丁目1番30号
TEL 011-598-0306 FAX 011-598-0307
E-mail pia-tsukisamu@ryoku-sin.or.jp
- 7 地域生活支援センター「こねくと」(障がい者グループホーム)
●コネクト山の手**
〒063-0002 札幌市西区山の手2条4丁目5番16号
TEL 011-688-7945(法人事務局)
E-mail info@endue.jp
- 8 ●コネクト元町**
〒065-0026 札幌市東区北26条東15丁目1番40号-7階
TEL 011-688-7945(法人事務局)
- 9 ●コネクト平岸**
〒062-0934 札幌市豊平区平岸4条6丁目3番23号
TEL 011-688-7945(法人事務局)
⑧⑨共通 E-mail info@endue.jp
- 10 指定相談支援事業所『相談室ぴあ』(コネクト元町併設)**
〒065-0026 札幌市東区北26条東15丁目1番40号
コネクト元町併設
TEL 011-374-1360
E-mail soudan-pia@ryoku-sin.or.jp
- 11 児童自立援助ホーム『とらい・あんぐる』**
〒063-0004 札幌市西区山の手4条11丁目2番30号
TEL 011-215-9357
E-mail try-a@ryoku-sin.or.jp
- 12 児童自立援助ホーム・一時保護所『ぴあ・くおれ』**
〒061-2284 札幌市南区藤野4条2丁目7-2
TEL 011-596-6503

社会福祉法人

緑伸会

法人名称 社会福祉法人 緑伸会(りょくしんかい)

法人本部 〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目4番地 ダンロップSKビル3F

TEL 011-261-1313 FAX 011-251-3132

E-mail info@ryoku-sin.or.jp